平成１９年６月１１日
福祉保健局少子社会対策部

東京都児童会館の機能移転について

１　機能移転の理由

同会館が開設された昭和３９年当時、区市町村の児童館は１８館に過ぎなかったが、現在では、６２０館に達しており、地域において、遊びを通じて児童の健全な育成を図る場はおおむね整備された。

一方で、同会館は建築後４０年余りが経過し、建物の老朽化が進んでいるため。

２　移転までのスケジュール

時　　期	内　　容
平成１８年　１月	基本構想策定
平成１８年　６月～平成１８年１１月	基本設計
平成１８年　８月～平成１８年　９月	埋蔵文化財試掘調査
平成１８年１２月～平成１９年　２月	土壌汚染調査（その１）
平成１９年　４月～平成１９年　６月	土壌汚染調査（その２）

今後、地盤調査、解体工事、実施設計、埋蔵文化財本調査、本工事を行う。

福祉保健局のHP
子育て家庭相互センターで検索
69ページの中
20中で4/10-29
から手をつけて
下さい。

３　移転後の機能について

区市町村との役割分担の視点から、子どもの創意工夫を引き出す遊びや、親と子どもが体験をともにできる遊びなど、新たな遊びの開発などに関する情報発信や、指導員の人材育成などのセンター的な機能に重点化を図る。

そして、今後、住民に身近な区市町村において、中高生を含めた子どもの健全育成の取り組みが一層進むよう、同会館で培ったノウハウや実績を積極的に還元し、区市町村の地区児童館の支援を強化していく。